

2011年12月5日

アカデミア・コンソーシアムふくしま

図解思考で問題解決力を高めようー考える大学職員への道

大学の仕事は前の人を作った書類を探し出して単語を変えて使いまわしていただけたなあと思いついてしまいました。

目からウロコがボロボロ。机の上にウロコがいっぱい！
本学オリジナルを今日から生み出すべく努力します。

自分の本当にすべき仕事に気づいてしまい、ショックでした。

これからの仕事のパワーがわきました。

図解思考は興味深いツールだと思いました。

自分がいかに自分の業務を分かっていないかがわかりました。コツは複数人であーでもない、こーでもないと話し合う中から、いろいろな意見を取り入れ作り上げていく中で身に付けていくものであると思いました。

大学内部の問題解決に役立つと思います。

会議資料は図解した方が理解が早い。

多摩大学のHPは、概要が一目で分かる物と認識してからは、情報量が多く理解しやすい図解であることに驚かされた。自分の仕事もこのくらいの図解で表現したい。

問題解決に役立つ方法だと感じました。

新たな気持ちで業務にあたりたい。

新しい物の見方を知ることができた。

大学の教育についても考えるきっかけとなり、職業生活において重要な能力と大学で身につけた能力の差にとっても納得できた。

説得型から納得型へのお話しも、なるほどと思いつけられました。